



Q 中学1年の秋からあまり学校に行っていない息子ですが、卒業式は出席させたほうがいいでしょうか。

A 本人の状況で考えてください。式だけは出たいと本人が思っているようでしたら出席したほうがいいでしょう。

子供の気持ちを中心に

卒業・入学シーズンは、子供の成長を目の当たりにできる時期です。式典に出席する保護者も晴れやかな気持ちになれますね。その一方で、他の子供と歩調を合わせられない子供の保護者は、つらい思いをします。しかし、一番つらいのは本人ですから、子供の気持ちを中心に考えましょう。

不登校の子供は増えていきますから、自分の子供だけどうして学校に行けないのだろう、と他の子供と比べたり、責めたりしないでくださいね。卒業式への

出席を相談されるところをみると、本人の心に寄り添い、元気になるのを見守っている両親の様子がうかがえます。

ただ、大勢の中に入ると、体に変調を来す恐れがある場合は、学校に相談してください。不登校児への学校の対応は変わってきており、別室で証書を受け取れるように配慮してくれる学校もありますから。

焦ることはない

卒業式も大切ですが、卒業後の進路は決まっているのでしょうか。長い人生の中で、十代の一時期、普通の子供より歩みが

少し遅くなっても焦る必要はありません。

本人に学ぶ意思があるなら、通信制や定時制、不登校児を受け入れる科を持つ高校、それに高校に行かずに卒業程度の認定試験合格を目指すなら子供の学習支援などを行なう、いわゆる「サポート校」もあります。本人とじっくり相談してください。

人と違う歩みが続ける子供のほうが、しっかりした自分の考えを持つ傾向があります。暗いトンネルを抜け出すと、子供の歩みは急に速くなります。そんな時が必ずやってくることを信じて乗り越えてください。